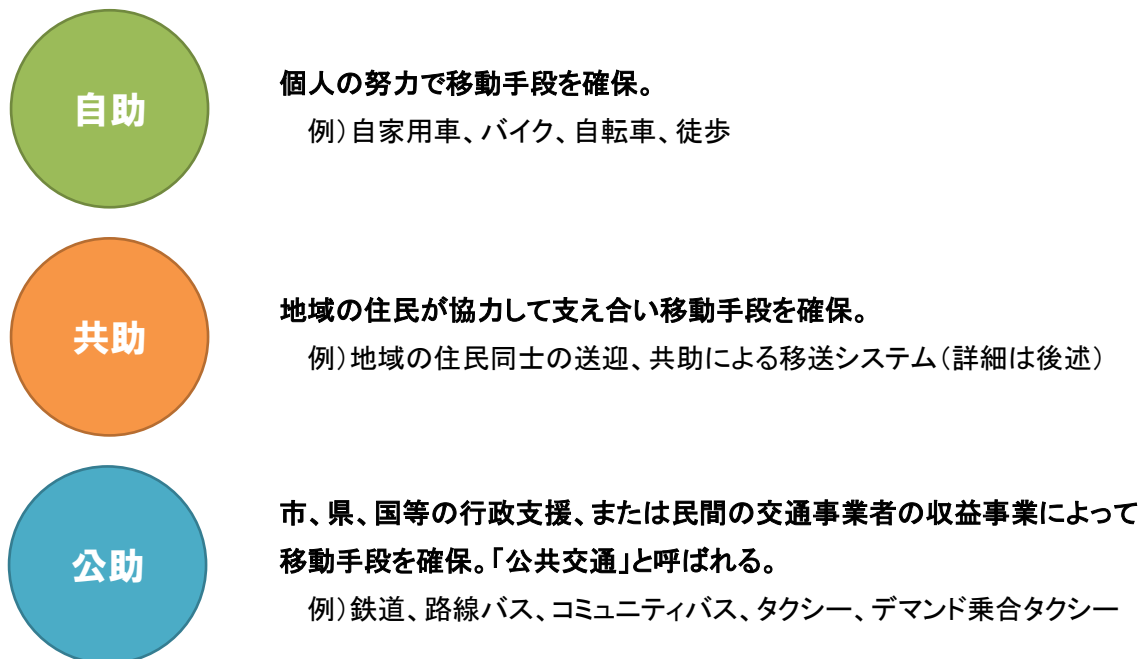


1. 移動手段の維持・確保に関する役割分担の考え方

(1) 支える主体による移動手段の区分

支える主体によって移動手段を自助、共助、公助の3種類に分けると、次のようになる。

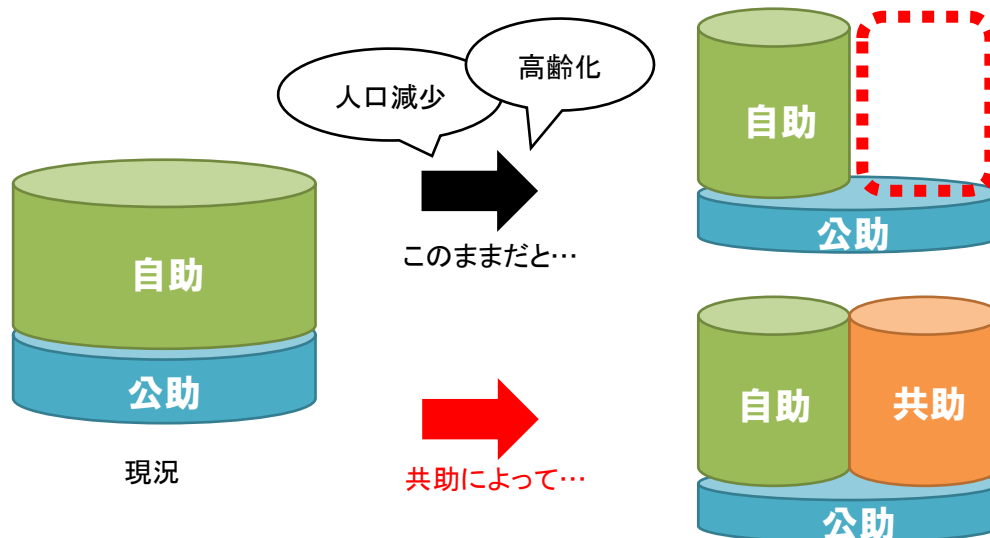


(2) 共助による移動手段の確保の必要性

現在の銚田市民の移動手段は、自家用車による移動が非常に多く、市民一人一人が努力する「自助」が大きなウェイトを占めている。一方で、公共交通の利用意識は低く、「公助」が占めるウェイトは小さい。

しかしながら、今後、高齢化によって自家用車の運転が困難になると、「自助」による移動手段の確保は難しくなる。また、人口減少や高齢化に伴う公共交通の利用者減少が進む状況を踏まえると、交通事業者の努力だけでは、「公助」による移動手段を維持、拡充していくことは難しい状況にある。すなわち、このままでは市内の移動手段は縮小していき、移動に困る人が多く出てくる。

そこで、共助による移動手段の確保によって移動手段を充実させていく必要がある。



2. 移動手段確保のための施策

(1) 移動手段確保のための施策の種類

公共交通空白地域において移動手段を確保するための施策を挙げる。

【公助による移動手段確保の施策】

新たな公共交通の導入や既存の公共交通の拡充、既存公共交通利用の優遇制度が考えられる。

① 路線バス

路線バスは、民間事業者が定時定路線で運行している地域公共交通システム。

② コミュニティバス

コミュニティバスは、定時定路線で運行し、運賃は民間路線バスに比べて低廉に設定している地域公共交通システム。

車両を小さくして細い道路も通れるようにし、住宅地の内部に停留所を設けることがある。

③ 無料バス

無料バスは、定時定路線で運行し、運賃は無料に設定している地域公共交通システム。

④ 乗合タクシー

乗合タクシーは、定時定路線又は予約制により、有償・無償を問わず利用者の希望に基づき乗合で移送する地域公共交通システム。

停留所や路線を指定する場合と、任意の区間を移動できるようにしている場合がある。また、利用者に制限を設ける場合がある。

⑤ タクシー助成券の配布

利用者にタクシー助成券を配布し、タクシー助成券を利用することで運賃が割引される施策。

【共助による移動手段確保の施策】

今まで一部の地域で行われていた地域の住民同士の送迎をシステム化し、他の地域にも広げていくことが考えられる。市は地域の移送システムの構築を支援する。

⑥ 共助による移送システム

共助による移送システムは、地域住民がボランティアとなって移動に困る地域の方の送迎を行う移送システム。

(2)他市町村の事例

他市町村の移動手段確保のための施策の事例を紹介する。

種類	事例	特徴
①路線バス	A) 広域路線バス 「鹿行北浦ライン」	複数市をまたぐ路線バスに国と市が運行費を補助
②コミュニティバス	B) 小美玉市市内循環バス	朝夕と昼でルートやダイヤを変更
	C) つくばみらい市コミュニティバス	点在する集落を結ぶように複数のルートを設定
	D) 鹿嶋コミュニティバス	南北縦断線と環状線の2ルートに分けて運行。乗車人員が多い(13.2人/便)
	E) 龍ヶ崎市コミュニティバス 龍ゆうバス・龍ぐうバス	小学生の通学にも利用し、乗車人員が多い(10.4人/便)
	F) まちづくり活性化バス キララちゃん(土浦市)	NPO法人が事業主体となり、中心市街地活性化のために運行
	G) コミュニティバスかっぱ号 (牛久市)	朝夕と日中でダイヤを分け、乗車人員が多い(10.6人/便)
	H) 桜川市バス「ヤマザクラGO」	利用者にあわせてダイヤや路線を設定
③無料バス	I) 結城市巡回バス	運賃無料で運行
④乗合タクシー	J) 鉾田市乗合自動車	タクシー事業者に委託し、大洋地区で運行
	K) 神栖市デマンドタクシー	タクシー事業者に委託し、市内を4つのエリアに分けて運行
	L) 行方市デマンド型コミュニティバス(乗合タクシー) 「行方ふれあい号」	タクシー事業者に委託し運行。乗降者場所は市内であれば制限なし
	M) のりあいタクシー土浦	年会費制度をとり、市は年会費の一部を本人に助成
	N) デマンド型乗合タクシー (秦野市)	予約があったときのみ一般タクシーが乗合タクシーとして運行
⑤タクシー助成券の配布	O) 鹿嶋市地域交通利用料金助成事業	タクシー初乗り料金の助成
⑥共助による移送システム	P) 牛久第二小学校区地区社会福祉協議会 外出サポート事業	市社協と地区社協の協働事業。ボランティア運転士が運転し、運賃は実費相当

①路線バス

路線バス	A) 広域路線バス「鹿行北浦ライン」
特徴	複数市をまたぐ路線バスに国と市が運行費を補助
運行形態	定時定路線
運行事業者	関鉄グリーンバス(株)
ルート・ 運行便数	<p>潮来駅～レイクエコー・白浜少年自然の家・なめがたファーマーズビレッジ中央～鹿島大野駅</p> <p>16 便(8 往復)/日</p> 
運行時間帯	5:35～21:28
運賃(大人)	200 円～800 円
車両	<p>中型バス 55 人乗り 2 台</p> 
利用者数	7,371 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	2.9 人/便(H27 年度)

②コミュニティバス

コミュニティバス	B)小美玉市市内循環バス	
特徴	朝夕と昼でルートやダイヤを変更	
運行形態	定時定路線	
運行事業者	関鉄グリーンバス(株)	
ルート・ 運行便数	<p>朝・タバスルート(左回り) 羽鳥駅～小川駅～羽鳥駅 3 便/日</p> <p>朝・タバスルート(右回り) 羽鳥駅～小川駅～羽鳥駅 3 便/日</p> <p>昼バスルート(左回り) 羽鳥駅～小川駅～茨城空港～羽鳥駅 6 便/日</p> <p>昼バスルート(右回り) 羽鳥駅～茨城空港～小川駅～羽鳥駅 6 便/日</p>	
		
運行時間帯	5:55～19:00	
運賃(大人)	200 円均一	
車両	小型バス 34 人乗り 2 台	
利用者数	22,962 人/年 (H27 年度)	
便あたり乗車人員	全ルート平均 3.9 人/便(H27 年度)	

コミュニティバス	C)つくばみらい市コミュニティバス	
特徴	点在する集落を結ぶように複数のルートを設定	
運行形態	定時定路線	
運行事業者	関東鉄道(株)	
ルート・ 運行便数	<p>Aルート 狸穴～板橋小～みらい平駅 1便/日</p> <p>Bルート みらい平駅～伊奈東～きらくやま 6便/日</p> <p>Cルート みらい平駅～小張～板橋小～きらくやま 8便/日</p> <p>Dルート みらい平駅～谷井田～守谷駅 2便/日</p> <p>Eルート きらくやま～谷井田～守谷駅 5便/日</p> <p>Fルート 守谷～小絹駅～谷和原庁舎～みらい平駅 3便/日</p> <p>Gルート みらい平駅～谷和原庁舎～小絹駅 2便/日</p>	
運行時間帯	7:10～19:05	
運賃(大人)	200円均一	
車両	<p>中型バス 29人乗り 2台</p> 	
利用者数	28,522人/年 (H27年度)	
便あたり乗車人員	全ルート平均 3.4人/便(H27年度)	



コミュニティバス	D) 鹿嶋コミュニティバス
特徴	南北縦断線と環状線の 2 ルートに分けて運行。乗車人員が多い
運行形態	定時定路線
運行事業者	㈱池田交通
ルート・ 運行便数	<p>中央線 鹿島灘駅～高松緑地公園 10 便(5 往復)/日</p> <p>湖岸海岸線 鹿島灘駅～チェリオ・イオン～鹿島灘駅 8 便/日</p> 
運行時間帯	7:05～20:00
運賃(大人)	300 円均一
車両	<p>中型バス 37 人乗り 4 台</p>  <div data-bbox="778 1518 997 1630"> <p>池田交通 ☎69-1785 市企画課</p> </div>
利用者数	57,931 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	<p>中央線 22.3 人/便(H27 年度)</p> <p>湖岸海岸線 8.1 人/便(H27 年度)</p> <p>全ルート平均 13.2 人/便(H27 年度)</p>

コミュニティバス	E) 龍ヶ崎市コミュニティバス 龍ゆうバス・龍ぐうバス	
特徴	小学生の通学にも利用し、乗車人員が多い	
運行形態	定時定路線	
運行事業者	関東鉄道(株)、平成観光自動車(株)	
ルート・ 運行便数	<p>循環ルート(内回り) 竜ヶ崎駅～城南ショッピングセンター～ 11 便/日 竜ヶ崎駅</p> <p>循環ルート(外回り) 竜ヶ崎駅～城南ショッピングセンター～ 11 便/日 竜ヶ崎駅</p> <p>Aルート(南が丘・長山線) 南が丘公園～市役所～南が丘公園 6 便/日</p> <p>Bルート(湯ったり館線) 総合福祉センター～湯ったり館～総合 6 便/日 福祉センター</p> <p>Cルート(北方・大宮線) 総合福祉センター～大宮コミュニティセ 6 便/日 ンター～総合福祉センター</p> <p>Dルート(泉線) 総合福祉センター～市役所～総合福祉 4 便/日 センター</p> <p>Eルート(佐貫線) 佐貫駅西口～市役所～佐貫駅西口 7 便/日</p> 	
運行時間帯	7:20～19:04	
運賃(大人)	100 円均一	
車両	<p>小型バス 34 人乗り 2 台、</p> <p>小型バス 36 人乗り 1 台、</p> <p>マイクロバス 29 人乗り 3 台</p> 	
利用者数	191,368 人/年 (H27 年度)	
便あたり乗車人員	全ルート平均 10.4 人/便(H27 年度)	

コミュニティバス	F)まちづくり活性化バスキララちゃん(土浦市)
特徴	NPO法人が事業主体となり、中心市街地活性化のために運行
運行形態	定時定路線
運行事業者	関東鉄道(株)、土浦地区タクシー協同組合
ルート・ 運行便数	<p>Aコース 土浦駅西口～市民会館北～土浦駅東 14 便/日 市民会館循環 口～土浦駅西口</p> <p>Bコース 土浦駅西口～霞ヶ浦医療センター～亀 14 便/日 亀城公園循環 城公園前～土浦駅西口</p> <p>Cコース 土浦駅西口～土浦駅東口～霞浦の湯 14 便/日 霞ヶ浦循環みどり野ルート ～土浦駅西口</p> 
運行時間帯	7:20～19:45
運賃(大人)	150 円均一
車両	<p>小型バス 28 人乗り 3 台</p> 
利用者数	132,613 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	全ルート平均 8.6 人/便(H27 年度)

コミュニティバス	G)コミュニティバスかつぱ号(牛久市)																										
特徴	朝夕と日中でダイヤを分け、乗車人員が多い																										
運行形態	定時定路線																										
運行事業者	関東鉄道(株)																										
ルート・ 運行便数	<table><tr><td>小坂団地ルート</td><td>牛久駅～福祉センター～牛久駅</td><td>14 便/日</td></tr><tr><td>運動公園ルート</td><td>牛久駅～運動公園～牛久駅</td><td>11 便/日</td></tr><tr><td>刈谷城中ルート</td><td>牛久駅～刈谷団地～牛久駅</td><td>4 便/日</td></tr><tr><td>みどり野ルート</td><td>牛久駅～六建団地～牛久駅</td><td>12 便/日</td></tr><tr><td>つつじが丘ルート</td><td>牛久駅～弁天前～牛久駅</td><td>10 便/日</td></tr><tr><td>刈谷ルート</td><td>牛久駅～刈谷団地～牛久駅</td><td>6 便/日</td></tr><tr><td>上柏田・むつみルート 朝夕</td><td>牛久駅～上柏田～牛久駅</td><td>15 便/日</td></tr><tr><td>さくら台・みどり野ルート 朝夕</td><td>牛久駅～さくら台～牛久駅</td><td>9 便/日</td></tr></table>			小坂団地ルート	牛久駅～福祉センター～牛久駅	14 便/日	運動公園ルート	牛久駅～運動公園～牛久駅	11 便/日	刈谷城中ルート	牛久駅～刈谷団地～牛久駅	4 便/日	みどり野ルート	牛久駅～六建団地～牛久駅	12 便/日	つつじが丘ルート	牛久駅～弁天前～牛久駅	10 便/日	刈谷ルート	牛久駅～刈谷団地～牛久駅	6 便/日	上柏田・むつみルート 朝夕	牛久駅～上柏田～牛久駅	15 便/日	さくら台・みどり野ルート 朝夕	牛久駅～さくら台～牛久駅	9 便/日
小坂団地ルート	牛久駅～福祉センター～牛久駅	14 便/日																									
運動公園ルート	牛久駅～運動公園～牛久駅	11 便/日																									
刈谷城中ルート	牛久駅～刈谷団地～牛久駅	4 便/日																									
みどり野ルート	牛久駅～六建団地～牛久駅	12 便/日																									
つつじが丘ルート	牛久駅～弁天前～牛久駅	10 便/日																									
刈谷ルート	牛久駅～刈谷団地～牛久駅	6 便/日																									
上柏田・むつみルート 朝夕	牛久駅～上柏田～牛久駅	15 便/日																									
さくら台・みどり野ルート 朝夕	牛久駅～さくら台～牛久駅	9 便/日																									
	<div><div><p>かつぱ号/日中ルートマップ</p></div><div><p>かつぱ号/通勤ライナー(平日のみ) ルートマップ</p></div></div>																										
運行時間帯	5:26～21:08																										
運賃(大人)	日中ルート 100 円均一 朝夕運行の通勤ライナーは 170 円均一																										
車両	三菱ローザ 29 人乗り 2 台、日野ポンチヨ 36 人乗り 3 台																										
利用者数	290,670 人/年 (H27 年度)																										
便あたり乗車人員	全ルート平均 10.6 人/便(H27 年度)																										

コミュニティバス	H) 桜川市バス「ヤマザクラGO」
特徴	利用者にあわせてダイヤや路線を設定
運行形態	定時定路線
運行事業者	関鉄パープルバス(株)
ルート・ 運行便数	<p>筑波山口～桜川市役所岩瀬庁舎 28 便(14 往復)/日</p>  <p>桜川市バス 「ヤマザクラGO」利用ガイド (平成30年4月1日版)</p> <p>運賃 1乗車 均一200円!</p> <p>4月から「PASMO」や 「Suica」など ICカードが 利用できます!</p> <p>毎日運行!!</p>
運行時間帯	6:02～21:20
運賃(大人)	200 円均一
車両	<p>小型バス 30 人乗り 3 台</p> 

③無料バス


無料バス	I) 結城市巡回バス		
特徴	運賃無料で運行		
運行形態	定時定路線		
運行事業者	結城市		
ルート・ 運行便数	北部東	結城駅～市役所～結城駅	8 便/日
	北部西	結城駅～城西病院～結城駅	6 便/日
	小田林	結城駅～結城病院～結城駅	4 便/日
	絹川	結城駅～かなくぼ体育館～結城駅	5 便/日
	江川A上下	山川新宿～江川出張所～結城駅	4 便/日
	江川B上下	七五三場～アクロス前～結城駅	4 便/日
	山川A上下	山川文化会館～才光寺公園～結城駅	4 便/日
	山川B上下	粕礼～鹿窪団地入口～結城駅	4 便/日
			
運行時間帯	7:30～18:30		
運賃(大人)	無料		
車両	ワゴン 15 人乗り 1 台、ワゴン 14 人乗り 2 台		
利用者数	24,365 人/年 (H27 年度)		
便あたり乗車人員	2.8 人/便(H27 年度)		

④乗合タクシー

乗合タクシー	J) 鉾田市乗合自動車
事業の方法	タクシー事業者に委託
運行形態	デマンド 事前登録が必要。利用時に電話予約し、乗合で移送。
運行事業者	鉾田観光バス(株)
対象	大洋地区及び鉾田地区の一部にお住まいで住民基本台帳に登録されている 65 歳以上の方(自立歩行が可能な方)
運行エリア	鉾田市内(旧大洋村・旧鉾田町の一部) 目的地は運行区域の医療機関、消防関係、郵便局、銀行、駅(鉄道)、県及び市の機関、商業施設が対象。
運行便数	8 便/日
運行時間帯	8:30～17:00
運賃(大人)	300 円/回(片道)
車両	ワゴン 10 人乗り 2 台
利用者数	5,934 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	3.1 人/便(H27 年度)

乗合タクシー	K) 神栖市デマンドタクシー
事業の方法	タクシー事業者に委託
運行形態	デマンド 事前登録が必要。利用時に電話予約し、乗合で移送。
運行事業者	(有)浜松タクシー、鹿島合同自動車(株)、(有)神栖タクシー、南部タクシー(株)、(有)柳川タクシー
対象	神栖市民
運行エリア	神栖市内を 4 つのエリアに区分し、行き先は、自宅のあるエリア内の指定されている医療機関・公共施設・商業施設・金融機関に限定。但し、「乗継サービス」の利用により、拠点病院など、隣エリアの特定の場所に移動することも可能。
運行便数	9 便/日
運行時間帯	8:00～16:00
運賃(大人)	300 円/回(片道)
車両	セダン型タクシー4 人乗り 9 台
利用者数	28,359 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	全エリア平均 2.0 人/便(H27 年度)



乗合タクシー	L) 行方市デマンド型コミュニティバス(乗合タクシー)「行方ふれあい号」
事業の方法	タクシー事業者に委託
運行形態	<p>デマンド</p> <p>事前登録が必要。利用時に電話予約し、乗合で移送。</p> 
運行事業者	社会福祉法人行方市社会福祉協議会
対象	行方市内に住所を有する方
運行エリア	行方市の市域内
運行便数	8 便/日
運行時間帯	8:00～16:00
運賃(大人)	500 円/回(片道)
車両	ワゴン 10 人乗り 4 台
利用者数	15,978 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	2.1 人/便(H27 年度)

乗合タクシー	M) のりあいタクシー土浦
事業の方法	年会費制度をとり、市は年会費の一部を本人に助成
運行形態	<p>デマンド</p> <p>事前登録が必要。利用時に電話予約し、乗合で移送。</p>
運行事業者	土浦地区タクシー協同組合
対象	土浦市在住の 65 歳以上の方及びその介助者
運行エリア	土浦市内
運行便数	16 便/日
運行時間帯	8:00～16:30
運賃(大人)	600 円/回(片道)、一部 1,200 円/回(片道)の区間あり 年会費 13,000 円(うち 11,000 円は市から助成)
車両	ワゴン 6 人乗り 4 台、セダン 4 人乗り 1 台
利用者数	18,365 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	1.6 人/便(H27 年度)

乗合タクシー	N)デマンド型乗合タクシー(秦野市)
事業の方法	予約があったときのみ一般タクシーが乗合タクシーとして運行
運行形態	デマンド 事前登録が必要。但し、事前登録が済んだ方と一緒に乗車する場合は未登録の方も乗車可能。利用時に電話予約し、乗合で移送。
運行事業者	秦野交通株式会社
対象	利用者登録をした方又は利用者登録をした方の同乗者 エリア外に居住の方も登録可能
運行エリア	渋沢駅エリア～栢窪・渋沢エリア 
運行便数	11 便/日
運行時間帯	8:30～17:00
運賃(大人)	350 円/回(片道) 2名以上で同時に利用する場合は 300 円/回(片道) 1名で同日に往復利用する場合、復路の運賃は 250 円/回(片道)
車両	セダン5人乗り 
利用者数	107 人/年 (H27 年度)
便あたり乗車人員	1.1 人/便(H27 年度)

⑤タクシー助成券の配布

タクシー助成券の配布	○)鹿嶋市地域交通利用料金助成事業
目的	70歳以上の市内移動手段の確保が困難な高齢者に対し、外出の交通費の一部を助成することにより、健康的で活力ある生活を促し、もっと地域福祉の向上に資すること
内容	タクシー初乗り料金相当額(710円)を助成する「地域交通利用料金助成事業利用券(タクシー利用券)」を交付
配布枚数	最大12枚
有効期限	1年間
対象	満70歳以上で運転免許証の交付を受けていない、市の福祉タクシーや外出支援サービスなどを受けていない市民
利用方法	利用券は、1乗車につき一人1枚利用可能。精算時に利用券を渡すことで初乗り料金分が差し引かれる。 利用券を持っている複数人で乗り合わせた場合、人数分利用可能。
利用できる範囲	乗車場所または降車場所のいずれかが鹿嶋市内
利用できるタクシー会社数	6社

⑥共助による移送システム

共助による移送システム	P)牛久第二小学校区地区社会福祉協議会 外出サポート事業
目的	二小学区地区は駅から1km程度の距離にあるが、坂があり、駅までの送迎や買い物のサポートといった福祉的課題を解決するための事業(生きがいサポート協働事業の一環)
運行形態	デマンド 事前登録が必要。利用時に電話予約し、乗合で移送。 ボランティア運転士とサポート員が1名ずつ乗車。
運行主体	市社協と地区社協の協働事業。 市社協が車両の確保・維持管理・保険対応等を行い、地区社協が利用者の登録、利用調整・運転者及び介添え者の登録、協力調整等を行う。
対象	二小学区内に居住の高齢者(年齢制限なし)
運行ルート	自宅～刈谷のカスミ(スーパー)
運行便数	週4回
運行時間帯	火曜日・金曜日の午前・午後
運賃(大人)	50円/回(往復)(ガソリン代等実費相当)
車両	ワゴン7人乗り1台(市社協が購入・管理)
利用者数	469人/年(H28年度)

2. 公共交通の運行にかかる費用

平成28年度県内市町村が運行する地域公共交通システム等データ一覧（平成27年度の実績）をもとに、利用者1人あたりの市町村・国の負担額を算出した。

コミュニティバスは、地域によって利用者1人あたりの市町村・国の負担額に差がある。便あたり乗車人員が多ければ、路線バスや無料バスに比べ利用者1人あたりの市町村・国の負担額を安く抑えることが可能となる。

乗合タクシーは、乗合タクシー土浦のように市が年会費を助成する方式や、秦野市のように一般のタクシーを活用する方式が、タクシー事業者への委託契約よりも利用者1人あたりの市町村・国の負担額を安く抑えられる。

種類		年間輸 送人員	便あたり 乗車人 員	収入(千円)					支出 (千円)	利用者1人あた りの市町村・国 の負担額
				運賃収 入	年会費 収入	市町村 補助	国等 補助金	その他		
		A				B	C			(B+C)/A
①路線バス	広域路線バス「鹿行北浦ライン」	7,371	2.9	1,096		9,030	1,268		12,550	1,397
②コミュニ ティバス	小美玉市市内循環バス	22,962	3.9	2,515		30,183	15,990		48,688	2,011
	つくばみらい市コミュニティバス	28,522	3.4	3,992		20,681			24,673	725
	鹿嶋コミュニティバス	57,931	13.2	14,814		20,000		2,571	37,385	345
	龍ヶ崎市コミュニティバス (龍ゆうバス・龍ぐうバス)	191,368	10.4	15,746		47,972			63,718	250
	まちづくり活性化バスキララちゃん (土浦市)	132,613	8.6	18,497		18,048	9,069	4,521	50,135	204
	コミュニティバスかっぱ号 (牛久市)	290,670	10.6	26,065		41,842	11,448		79,355	183
③無料バス	結城市巡回バス	24,365	2.8			16,566			16,566	680
④乗合タク シー	鉾田市乗合自動車	5,934	3.1	1,847		9,658			11,505	1,628
	神栖市デマンドタクシー	28,359	2.0	8,946		43,709		1	52,655	1,451
	行方市デマンド型コミュニティバス(乗 合タクシー)「行方ふれあい号」	15,978	2.1	4,673		22,230			26,903	1,391
	のりあいタクシー土浦	18,365	1.6	11,022	1,970	11,554		1,246	22,038	629
	デマンド型乗合タクシー(秦野市)	107	1.1	35		36		37	108	336

3. 銚田市での導入イメージ

(1) 移動手段確保のための施策のまとめ

他市町村の事例をもとに、銚田市で移動手段を確保するための施策を検討する。

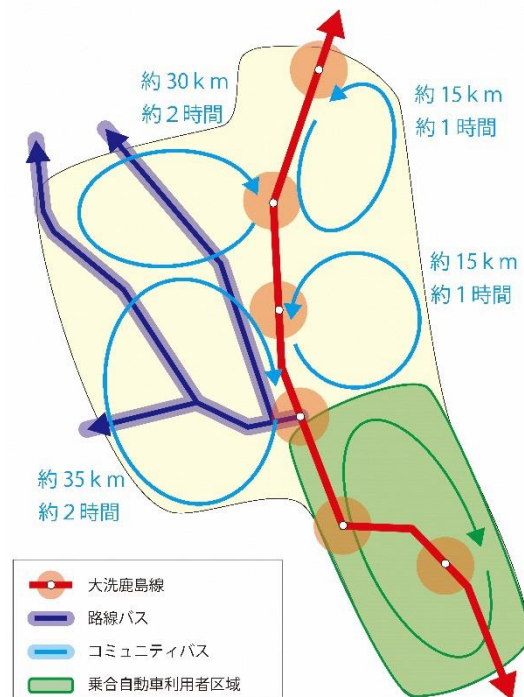
① 路線バス

銚田市において路線バスは、新銚田～大洗駅の路線バスが廃止となるように利用者数が少なく、民間バス事業者の採算事業として維持していくことが困難である。市が補助を出す場合も利用者1人あたりの市町村・国の負担額はコミュニティバスに比べ高い場合が多い。

② コミュニティバス

自宅からバス停までの移動が必要となる。新銚田～大洗駅の路線バスのアンケート調査では、自宅からバス停までの移動が難しく、バスに乗らないという声があった。便あたり乗車人員が少ないと1人あたりの市町村・国の負担額は高くなる。

また、銚田市は可住地が広く、公共交通空白地域に居住する市民が多いため、ルートの設定については十分な調査検討が必要である。



コミュニティバスの所要時間の例

③ 無料バス

無料バスは、市が経費を負担することになり、利用者1人あたりの市町村・国の負担額はコミュニティバスに比べ高い場合が多い。

④ 乗合タクシー

事業方式によって利用者1人あたりの市町村・国の負担額が大きく変わる。

⑤ タクシー助成券の配布

自宅でタクシーを呼んだ場合、自宅までの迎車料金がかかるため、初乗り料金分(約720円)のタクシー助成券を利用しても自己負担が大きい。

銚田市はタクシー事業者が少なく、タクシー助成券を配布しタクシーの利用者が増えた場合、大洗町等市外のタクシー事業者に協力してもらう必要がある。また、予約が取れない可能性もある。

大洗鹿島線を活用し、駅からスーパーなどの目的地までタクシー助成券を利用してタクシーで移動する等の利用方法も考えられる。利用方法に工夫が必要である。

⑥ 共助による移送システム

ボランティア運転士等地域住民の協力が必要となる。

(2)検討内容

既存の大洗鹿島線や路線バスは今後も利用し維持していく必要がある。そのうえで公共交通空白地域に移動手段を確保し、市全体で移動ができるようにすることが望ましい。

意見交換の参考のため、前述の施策を銚田市で導入した場合のイメージを作成した。

A)コミュニティバス

公共交通空白地域となっている市北部から西部にかけてコミュニティバスを運行する。
既存駅や既存バス停と接続し、乗り継げるようにする。

B)乗合タクシー

大洋地区と同様に旭地区や銚田地区でも乗合タクシーを運行する。
自宅から駅や目的施設へ行くことが可能になる。

C)共助による移送システム＋乗合タクシー

B)の乗合タクシーに加え、共助による移送システムを導入し、高頻度で移動できるようにする。

D)大洗鹿島線の活用＋タクシー助成券の配布

タクシー助成券を配布し、大洗鹿島線の駅からスーパーなどの目的地への移動に利用してもらう。

＜鉾田市での導入イメージ＞

	A)コミュニティバス	B)乗合タクシー
特徴	◎定時定路線のコミュニティバスが運行	◎全市を乗合タクシーでカバー
イメージ図	<p>バス 又は ワゴン車</p> <p>大洗鹿島線 路線バス コミュニティバス 乗合自動車利用者区域</p>	<p>ワゴン車 又は タクシー</p> <p>大洗鹿島線 路線バス 乗合自動車利用者区域</p>
課題	<p>△自宅からバス停までの移動が困難な方は利用できない</p> <p>△既存バスは乗車率が低い</p> <p>△鉾田市は可住地が広く、公共交通空白地域全域を巡るルートの設定は十分な調査検討が必要</p> <p>△市等の補助による運行が想定される</p>	<p>△乗車前に予約が必要</p> <p>△運行頻度が低いと希望時間に予約できないことがある</p> <p>△タクシー会社に運行を委託する場合、市内タクシー事業者が少ない</p> <p>△市等の補助による運行が想定される</p>

	C)共助による移送システム＋乗合タクシー	D)大洗鹿島線の活用＋タクシー助成券の配布
特徴	◎共助による移送システムと乗合タクシーの組み合わせで効率的に移動	◎大洗鹿島線の駅からタクシー助成券を利用して目的地まで移動
イメージ図		
課題	<p>△地域住民の協力が必要</p> <p>△市等の補助による運行が想定される</p>	<p>△自宅でタクシーを呼んだ場合、自宅までの迎車料金が必要</p> <p>△市内タクシー事業者は少なく、大洗町等市外のタクシー事業者の協力が必要になることが想定される</p> <p>△タクシー助成券に必要な経費は市等の補助によることが想定される</p>